

第4回 浜黒崎小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和5年11月22日（水）

開催時間：12時40分～13時55分

開催場所：呉羽ハイツ

出席者：渡辺会長、谷井副会長、仲田副会長、姉崎委員、飯山委員、大田委員、
宝田(実)委員、温井委員、長谷川委員、堀井委員、松井委員、佐藤委員、
宝田(隆)監事

事務局：学校再編推進課長 山口 雅之
学校再編推進課主幹 高岡 太郎
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介
学校再編推進課計画係主査 村石 篤彦

《開会》

【司会】 第4回浜黒崎小学校のあり方協議会を開催する。
本日、都合により1名が欠席している。
議事を開始する前に、浜黒崎小学校のあり方に関するご意見として、ご意見フォームに届いたものについて事務局より報告する。

《地域からのご意見の報告》

【事務局】 (事務局へ届いた地域からのご意見(全8件)を報告)

(会長 挨拶)

《議事進行：各団体で集約した「浜黒崎小学校の再編」に関するご意見について》

【会長】 それでは、次第に従い進行する。
各団体の会合などにおいて、「浜黒崎小学校の再編」についてご意見を聞いているか伺った後、本日の学校見学会の感想などを聞いていく。
まずは、11月18日（土）に浜黒崎小学校育友会で小学生と未就学児の保護者を対象とした意見交換会を開催したと伺っているので、報告をお願いしたい。

【委員】 (意見交換会の様子・アンケートの結果について報告)

【会長】 ありがとうございます。

他の団体では追加で意見を聞いているところはあるか。

【委員】 役員では話ができているが、団体員全体ではまだ話はできていない。

【会長】 承知した。

自治振興会では明後日に、町内会長が集まる理事会がある。その席で各町内会長へ、あり方協議会についての説明を行い、地域説明会（12月9日（土））には必ず出席していただき、意見があれば集約して持ってきてほしいということを伝えようと思っている。

先ほど、事務局から報告された8件のご意見はホームページのご意見フォームへ届いたものか。

【事務局】 協議会だよりに掲載していたQRコードを読み取って送っていただいたご意見だと思っている。

【会長】 ようやく多少なりとも、賛成・反対だという意見が出てきた状況である。先日保護者の説明会があり、次は地域の説明会があるので、この後も意見が出てくると思う。事務局にもお願いしているが、少し期間を置いて、説明会后に上がってきた意見を集約して更に意見を聞きたいと思っている。

《議事進行：学校見学会をとおして得た感想について》

【会長】 それでは、本日の大広田小学校と古沢小学校を見てきた意見・感想を聞きたいと思う。順に発言をお願いしたい。

【委員】 大広田小学校を見てから古沢小学校を見たことと、複式学級を初めて見たということもあり、例えば自分の子どもがそういう環境になるとなれば、少し寂しいと感じたし、小学生はもう少し人数の多いところで勉強・生活するというのが小学校らしいと思う。

統合していく必要があるという感じは持っているが、やはりアンケートを見てもまだ、地域としては浸透していないと思った。

時間がかかっても回数を重ねることで、少しずつ地域に浸透させていく方策が出てくると感じた。

【委員】

大広田小学校を見て、思ったより開放的で子どもにとってはいいのかなと思った。

開放的な分、子どもたちがどこかに行ってしまうかという心配もあるが、自分の子どももこういった開放的なところに行かせたいという気持ちも出てきた。とはいえ、浜黒崎にも良いところがいっぱいあるので、それも含めて今後考えていく必要があると思った。

また、古沢小学校の複式学級は、子どもによってはすごく周りが気になってしまい、授業に手がつくのかなと感じた。

後は、保護者対象の意見交換会もあまり人が来ていなかったのはショックだった。ただ、その場に来たから意見が言えるかといえば、言えない人もいると思う。育友会などからアンケートという形で（再度）意見を求めてもいいのではないかと感じた。

【委員】

自身の子どもは浜黒崎で卒業させたいと思っていて、統合しなくてもいいと思っていたが、大広田小学校を見て、すごく子どもたちが活発で、雨の日でも校舎内で走ったり、鉄棒ができたりと、環境的に整えられていたので、ここで何年か過ごしてもいいかもと少し思った。

ただ、やはり地域の方との行事（芋ほり・焼き芋大会・田植えなど）がなくなるのであれば、それらを経験できる浜黒崎のほうが良い。統合するのなら浜黒崎と大広田の良いところが合わせられないかということを経験しながら進めていけたらいいと思った。

複式学級での授業に関しては、自分の子どもであれば気になるだろうと思う。ただ、今日見させてもらった限りではすごく手厚く見ていると感じた。いいところ取りができればいいと思う。

【委員】

大広田小学校の授業を見て、子どもたちが自分の意見をバンバン言っているのに驚き、すごいと感じた。校舎の中も（浜黒崎小学校と比べると）迷路のようになっているので、子どもたちにしてみたら楽しそう、新鮮味がありそうだという気がした。

次に古沢小学校を見てみると、浜黒崎小学校よりも更に少ない人数で驚いた。複式の授業を見て、先ほど手厚く見ているという意見があり、その通りだと思うが、丁寧になりすぎているのではないかと感じた。自主性がないわけではないと思うが、どちらが良いのか……と感じた。

あと、浜黒崎は結構行事があるが、大広田小学校では環境づくり協議会というところで、浜黒崎の児童クラブのような行事やPTAの行事のようなことをやっている。今度の土曜日に浜黒崎では無くなった餅つき大会があると聞いたので、様子を見てこようと思っている。

【委員】

見学したどちらの学校にも魅力があるなというのが本音である。

小学校をなくすことまでしなければいけないのか、浜黒崎小学校を生かして何とかできないかということで、非常に悩ましいと思っている。

個人としての考えだが、一個人の価値は人数が多ければ多いほど薄くなり、人数が少なくなるほど重要視されると思っている。

なので、古沢小学校のほうは一個人としての価値が非常に高くなり自尊心が生まれるかもしれないが、甘えも生まれるだろうと思う。ただ、その後人数の多いところに行くと、一個人としての価値は薄れ、認めてもらえないことや、グループに入りづらいというのがあり、中学校に行つてそれを味わった子がつらい思いをすることもあると思った。

浜黒崎小学校の今の児童数はまだ適正な数だと思っている、(アンケートで)「どちらとも言えない」という保護者の方たちには、できる限り今のままだという本音があると思っている。

他に道は何もないのか。10年後・20年後に大広田も多分同じ問題が出てくる。そうなるともた統合の話ということもあり得るので、どの形が正しいのか、まだ答えは出せない。

ただ、今はその場しのぎの統合になってしまう可能性もあるので、もう少し先も見据えた話もしていかなければならないと思う。

【委員】

大広田小学校に初めて実際に中に入ってみてすごく充実していると感じたので、仮に統合となったときも子どもたちはその環境の中で十分な教育を受けられそうだと率直に思った。

その後、古沢小学校を見学して、初めて複式学級というものを見た。

今日はたまたま水曜日で先生の数が多かったということであったが、子どもたちにとっては、先生が常に見てくれているわけではないという状況や、先生にとっても授業の仕方や準備が大変であるということをもっと感じることができた。

小学校を残すか残さないかはその地域にとって大事なことはあるが、

子どもたちにとっての教育環境も含め、両方を考えないと浜黒崎にとってベストな結論は出せないと思う。

これまで、見学や情報を共有させてもらったりして判断材料は揃ってきているが、地域の方たちにとっては情報を得る機会が少ないことが、意見交換会でのどちらも選べないという意見に表れるのだと思う。

良いこと、悪いことをしっかり把握したい地域の方が多く印象を受けたので、議論を浸透させていくために次に何をしていくのかということを考えて進めていく必要性を感じている。

【委員】

1クラス30人で最低でも2学級あれば個人の自立と教育のバランスが取れた状態であるという（見学会で聞いた）話が耳に残っている。

これだけ小規模校になってきたというのは、やはり国や教育側の対応が遅れたのがあるのではと感じたので、2クラスぐらいで社会性を学ぶということを小学校で学ぶのであれば、今の大広田のようなところに統合するという形が本来の理想であるとは思った。

一方で、古沢の方はすごく地域と密着して田植えなどの触れ合いがあると聞いた。このバランスを取ったアイデアを、大広田と統合していった場合でも出てくれば良いなと感じた。

【委員】

今日の学校見学はもし自分の子どもが小学校に入学する時にどっちを選ぶかという感覚で見学をさせてもらった。

入った瞬間、大広田小学校は活気もあり、明るいし賑やかである。これぞ小学校という感じがした。

古沢小学校は入った瞬間、懐かしさを感じたが、自分の子どもを行かせるとするなら、違うと感じた。複式学級ではいろいろな行事がある中で、子どもたちに負担がかかってくると思うので、それはないと感じた。

また、保護者を対象とした意見交換会の話で反対意見はないとのことであった。ただ、統合までの道のりは時間がかかる。複式学級になる直前から始めると絶対に遅いと個人的には思う。どこかでかじを切る必要性があるので、この協議会でその方向性とするのも有りではないか。

今まで私たち委員は資料（複式学級まで何年・将来の入学者の見込みなど）をもらっているが、そういった情報は出しているのか、事務局に聞きたい。

- 【学校再編推進課長】 市のホームページに掲載している。
- 【委員】 ホームページはなかなか見ないと思う。紙ベースの資料があれば手元にあって、いつでも見返せることで説得力が増して、考えが変わる方もいるような気がする。
- 【委員】 見学会における先生の話の中で1クラスの子どもの数は25名から30名が良いという話があった。私もそれが理想だと思っている。
現在、あり方協議会が発足しているが、保護者の意見交換会の参加人数は少ないと感じた。やはり無関心なのだと思う。次（12月9日）は地域を対象として意見交換会が開催されるが、その日は何名が来られるのか……。そのあたりを見てみたい。
- 【委員】 大広田小学校を見て、まず開放的で明るい学校だと感じた。子どもが通うとすれば、大広田の方がよいのか……。
いずれ浜黒崎小学校が複式学級になるのであれば、何となく子どもたちが可哀想だという印象を持った。古沢小学校の子たちが可哀想というわけではなく、浜黒崎がそうなるのは何となく嫌だなという意味である。地域との関わりとかをどうするかという話もあるし、小学校がなくなるのが本当にいいのかとも思うので、率直にはどちらとも言えない。
- 【委員】 意見・感想を言う前に、事務局から説明のあった8件のご意見というのは、保護者を対象とした意見交換会の後のものなのかを伺いたい。
- 【事務局】 前にいただいたものと後にいただいたものがあり、後にいただいたものは8件のうち2件である。
- 【委員】 承知した。
アンケート結果を見ると、「賛成」が3分の1「どちらとも言えない」が3分の2だったのか……。というのが率直な意見である。
今回、未就学児の子を含めた保護者の気持ち・関心は確認ができたので、少なかったがそれはよかったと感じている。
ただ、私たちが今日見たものは、この先どうあるべきかというところだと思うが、子どもたちには通うとすれば少し遠いな、通う時間がもったいない気がするな、と感じたことを（子どもたちに）伝えるかどうかは少し考えてみたい。
育友会としては、どうやってアピールをすれば、もっと全体に（この内

容が) 行き渡るかなので、周知の仕方は変えなければならないと先日のアンケート結果から思った。

ただ、浜黒崎じゃないとできないのではないかということもあると思うので、統合ではなく、再編として考えていく中で子ども達にとって良い方向を探し当てていきたいと感じた。

【委員】

私達も最初は(何かありきの統合は良いのか……。)このように思っていた。ただ、回を重ねていく中で多少なりとも意見は変わってきている。今は、子どもを優先とするのか、地域を優先とするのか、非常に悩んでいる。子どもだけのことを考えるならば、やはり大きい人数のところの方が良いと思うが、地域のこと考えるとそれで良いのかとも思う。最初こう思っていた人達も、説明会なり何かの機会があるにしたがって考えてもらえると思うので、そういった意見を吸い取って子どものため、地域のためになれば良いと思う。時間をかけてやっていけば良い方向に向かうと信じている。

【会長】

委員の皆さんも、やはり回を重ねるごとに意見も変わるし、見ることによっても考え方も変わってくると実感している。

それでは、私個人の意見を述べる。

大広田小学校と古沢小学校、コントラストの強い2つの学校を見学した。どちらかをという話であれば大広田小学校が良いという感想である。

他の委員の発言もあったが、個人的には絶対に子どもファーストであるべきという考えであり、統合に向けて進めるべきと感じている。

古沢小学校に関しては、周りにコンビニやレストランなどもあり、交通の便が良く、近くに工業団地、ファミリーパークもある。だけど全校児童は40名ほどであった。

自治振興会にも店を誘致するなど、人を増やす努力を……という話ももらうが、誘致できたとしても同じ形になると思った。

地域のことを思えば、学校がなくなると衰退するというのはある。引越など、若い方は来なくなると思う。だが、先に言ったとおりお店を増やして発展させていこうと思っても果たして人数は増えるのか……いずれは子どもが減って、子どもたちが可哀想な目にあってしまうという思いである。

事務局に伺いたいですが、統合する・しないという話の前に、例えばスクールバスや通学路、健全育成の話は次の段階という話を聞いているが、スクールバスはこのルート、健全育成の詳細はどうだという条件があつて初めて統合して良いという判断ができる方もおられると思うが、今の段階で発信することは可能なのか。

【学校再編推進課長】 最終的には統合する場所が決定しないとスクールバスのルートなどを考える事ができない。

過去の事例でいえば、必ずスクールバスを走らせているし、今回もどこかと統合するという話となれば、スクールバスを走らせる必要はあると考えている。

いずれにしても統合の相手先が決定し、相手先も交えた中でないと話ができない。統合先にも通学距離が長い子がいるかもしれないなど、統合先と確認しながら、細かなところを調整していく必要があるため、現段階では難しい。

【会長】 アンケートでも諸条件が分からないとどちらとも言えないという意見が多々ある。細かいところは抜きにしてスクールバスは必ず走らせる。健全育成室を浜黒崎としてどうするか考えるなど、そういった諸条件を揃えた上で意見を聞いてもいいなと思っている。

【学校再編推進課長】 地域説明会の場において口頭で（スクールバスを走らせるなどを）お伝えすることは可能だが、（距離やルートなどの）条件は相手先によって異なるため、内容まではお伝えできない。

また、健全育成は、地域の運営協議会の意向や利用者の方々の浜黒崎で残して欲しいという意見があれば、市の方針としては、浜黒崎の子どもたちは統合先と浜黒崎どちらも選べることを認めるなど、地域の希望を最優先に柔軟に対応してまいりたい。

例えば令和4年4月に統合した三成小学校は、旧上条小学校が旧三郷小学校と統合してできた学校だが、旧上条小学校の子どもたちは、旧上条小学校と三成（旧三郷）小学校のどちらの健全育成に通うか選ぶことができるようになっている。これは、地域の方で要望があり、市教委としても要望を汲み、運営協議会の方にも理解を得てこの形となっているため、市教委だけでは決定することができない話である。

【委員】 三成小学校の方に枠はあるのか。また、元々旧三郷小学校の子が旧上条小学校の健全育成に行くことはできるのか。要は浜黒崎の場合だと大広田の子どもたちも受け入れることとなるのか。

【学校再編推進課長】 現状では、旧三郷小学校の子は旧上条小学校の健全育成には行っていない。そういった要望がなかったということである。要望があればその時点で検討の必要があると考えるが、定員の話もあるため、運営協議会との相談になると思う。

ニーズとしては、そういったことは今までなかった。

【委員】 ニーズはあると思う。

【学校再編推進課長】 その辺りは今後相談しながら柔軟に対応してまいりたい。

次のステップの段階で、要望という形で地域から出していきたいと思っている。

【委員】 スクールバスや健全育成などを要望することも（地域の方々へ）伝えればいい。

【委員】 今まで統合しているところは、必ずスクールバス等を出しているということ（地域の方々へ）伝えればいいと思う。

【学校再編推進課長】 S T E P 1（あり方協議会）ではどの学校を相手先として話を進めるかという、相手先の希望を決めていただく形であり、S T E P 1で統合先が決定するものではない。

【委員】 一部針原と統合すればいいという意見もある。

【学校再編推進課長】 それは案としてある。針原も含めた形が富山市のたたき台である。

浜黒崎として例えば大広田を相手先とした場合は、次のS T E P 2で最終的に統合するか否かを決めていく形である。

【会長】 市としては、浜黒崎と針原が一緒になればベストという形か。

【学校再編推進課長】 市教委としてはたたき台がベストのつもりで作成したわけではなく、あくまで議論のたたき台としているものである。そのため、地域からの話の中で大広田と、という話であれば、2校統合でもあり得ると考えている。

【会長】 個人的には大広田しかないと思っていた。

【委員】 浜黒崎と針原との統合だと10年後には、恐らくだが人数的にも少なくなると思う。

- 【委員】 それも一つの選択という話。
- 【委員】 ただ、針原は統合したくないと言っていると言っている。
- 【委員】 行先としては現実的ではないが、水橋はどうかという話を以前のあり方協議会の時に質問をした。大広田じゃなければ駄目なのか。水橋は小中一貫教育となるし、そういったところへの統合は駄目なのかということ。それも駄目ではないということその時は回答してもらった。
- 【委員】 統合の話が（浜黒崎で）出ているということが大広田は承知しているのか。
- 【学校再編推進課長】 自治振興会長には次のSTEPになれば、大広田にも参加してもらう必要があるので、浜黒崎で地域や保護者の代表が集まって議論を始められるタイミングで周知をしている。ただ、現状の進捗については毎回報告は行っていない。
- 【委員】 大広田はどのように受け取っておられるのか。
- 【会長】 （自治振興）会長同士の話では、あり方協議会をやっているんだねという声かけはもらっている。私は統合ありきではないという発言をして新聞に載ったが、それを見て大広田の住民の方からは「大広田に来るのではなかったのか。」という意見が自治振興会へ上がってきていると聞いている。
- （大広田の）自治振興会長は浜黒崎ではいろんな意見があるから待つしかないという形で住民に説明をしているようである。ただ、どういう状況かはまた教えて欲しいと言われており、自治振興会長との連携はしている。
- 大広田の児童数が340人、浜黒崎の児童数が70人～80人ということは、大広田としても2割強の児童が増えるということであり、インパクトのある数字だと思う。大広田としても関心は出てくるという思いでいる。個人的には大広田という思いである。
- 【委員】 住民への説明会のときに説明したらいい。
- 【委員】 この間の集まり（保護者との意見交換会）を見た雰囲気だと私たち（委員）が最初に感じたことと同じで、統合ありきで話をしに来たと構えている。しっかり話をして考えていく。統合なら大広田、統合しないのであればこういうこともあるということも用意しておけばどうか。

- 【委員】 私たちもそうだったが、構えてしまうと（話が）入ってこない。構えてしまわないようなものが必要。
- 【委員】 だからこそどちらでもないという割合が多いと思う。そういった部分をどのように理解を得ていくかというところの知恵を絞っていかなければいけないと感じる。
- 【委員】 （12月9日の）地域の意見交換の際は、PTA会長が今日の報告をしながら話せばそれなりに分かってくれるのではないか。統合しないのであれば、複式学級だとこのような形になると伝えるべき。
- 【会長】 見なければ分からない部分もある。
- 【委員】 だからこそ、そういう話をしていけばみんなを説得できるのでは。そういう話がないから、どちらでもないという意見なので、それはやはり（話をした上で）聞かないといけない。
- 【学校再編推進課長】 市教委としても本日これだけ（委員の方に）集まっていたのは本当にありがたい。これまでも複式学級のデメリットは伝えてきたが、やはり見ていただかないとあの雰囲気は伝わらなかった。先日の保護者との意見交換会でも資料を出して欲しいという発言もあったが、言葉や資料で伝えられることは限界がある。とはいえ、（地域の方）全員に見ていただくこともできないため、委員の皆様には本日見ていただいたことを各団体で伝えていただき、その上で地域の方々に判断をしていただきたいと思っている。
- 【委員】 （地域の方から）尋ねられたら、私たちは（要望すれば）健全育成もできて、スクールバスも出るということを書いていいのか。
- 【学校再編推進課長】 それは言っていてかまわない。以前お伝えしたかもしれないが、市としては統合を決めた校区の要望については優先して対応したいと考えている。
- 【会長】 あり方協議会が正式にあるのは、市内では浜黒崎だけか。
- 【学校再編推進課長】 檜尾小学校でも協議会がある。
- 【会長】 浜黒崎は今80人程度だが、これだけの規模で統合を検討しているのは浜黒崎だけか。
- 【学校再編推進課長】 はい。

- 【会長】 そういう意味では、先ほどもあった健全育成やスクールバス、通学路の整備というのも早い方が要望としては言いやすいということか。
- 【学校再編推進課長】 はい。
- 【会長】 地域の考えと子どもへの考えをごちゃ混ぜにすると答えは出づらと思う。やはり学校のことは子どもファーストで考えるべきという思いでいる。そこからスタートしないと前へ進めないと思う。
- 【委員】 子どもファーストでまず考えて、その後で地域のこと。今までやってきたものもあるので、それを残すか否か、場合によってはプラスするかということを考えていけばいい。
- 【会長】 このあり方協議会の一番大事にするところだと思っている。
- 【委員】 次の意見交換会は地域向けの会になるので、地域寄りの意見が増える可能性が高いと思う。そのときに統合するか残すか以外の選択肢も考えたのかと言われると、そこまで考え切れていないと思う。今の浜黒崎小学校を残したまま外（の校区）からも子どもを呼べるようにして学校を維持するという手段もある。複式学級にならないための解決になるかは別の話となるが、そういうものを全て考えた上で、最終的に子どもの教育環境を考えてこれだという結論がいいと思うので、もう少し掘り下げる必要はあると思う。
- 【会長】 はい。
- 【委員】 今の（あり方協議会の）STEPで子どもたちの交流や見学はできないのか。
- 子どもの率直な意見と言うのも結構強いと思う。
- 【学校再編推進課長】 そういった要望をいただければ、前向きに検討したい。
- 他の地区でもそういった要望があり、交流から始めさせてほしいというところもある。
- 【委員】 本日の見学会の話を地域の皆さんに話して広めていかれたい。
- 【委員】 本日の資料は次（地域の意見交換会）にも使用することは可能か。
- 【事務局】 可能である。
- 【学校再編推進課長】 資料の案などは事務局で作成し、確認いただきたいと思う。

【会長】

回を重ねるごとに違う意見、前向きな意見が出てきて誠に良いことだと思う。

委員の皆さんは地域の意見交換会に来ていただき、どういう意見が出てくるかを聞いていただきたい。

— 了 —